

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究（19GC1012）
研究分担報告書

EGUIDE での調査研究

研究分担者	橋本 亮太	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部 部長
研究協力者	長谷川 尚美	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
	三浦 健一郎	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
	松本 純弥	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

研究要旨

向精神薬は精神科・心療内科に限らず広く一般診療科においても処方される汎用薬である。しかしながら向精神薬の処方率が伸びるにつれて極端な多剤併用や乱用、薬物依存などの不適正処方事例が増加し、頻繁にメディア報道されるなど社会問題化しており、患者の不安も高じている。向精神薬（抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬、精神刺激薬）の多剤併用、大量処方、漫然とした長期処方、乱用・依存などに関する臨床及び社会的な懸念が強まっている状況を鑑み、先行研究「向精神薬の処方実態の解明と適正処方を実践するための薬物療法ガイドラインに関する研究」（2017～2018年度厚生労働科学研究費補助金・障害者政策総合研究事業）において、ガイドライン作成に携わった精神医学、臨床薬学、エビデンス医学の専門家が中心となり、医療現場で頻用される6種の向精神薬である抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、睡眠薬、抗不安薬、ADHD治療薬の適正な使用と安全で安心な出口戦略に資する実践マニュアルを作成する。EGUIDEプロジェクトにおいては、精神科治療ガイドラインの講習を行い、その講習によって受講者の理解度の向上、ガイドラインの実践度の向上、そして処方行動の向上を検証している。本研究では、EGUIDEプロジェクトにおける理解度・実践度・処方行動の変化について検討することにより、この方法論を応用して本実践マニュアルの作成に寄与することを目的とする。2020年度は、11月から12月の間に、全国にて統合失調症薬物治療ガイドライン講習及びうつ病治療ガイドライン講習をそれぞれ9回行い、延べ463名が参加した。そして、講習前後の理解度データの収集、講習前後のガイドラインに基づいた治療の実践度調査データの収集、各医療機関における処方データの収集を行い、解析を行った。2016年に始まったEGUIDEプロジェクトで、初年度の講習会に先立って、参加84施設における1283人のうつ病患者さんへの処方のパターンを医療の質指標QI(Quality Indicator)を用いて示した。参加施設全体の抗うつ薬の単剤処方率は60%で、抗不安薬や睡眠薬の併用は72%であった。薬物療法以外では電気けいれん療法施行率は14%、認知行動療法実施率は1%であった。さらに特筆すべき点として、抗うつ薬の単剤処方率は施設によって0%から100%と大きな差がみられた。毎年講習の実施に伴い、今後これらの指標がより良い方向に変化していくことが期待される。EGUIDEでは、知識をいかに誤解のないように正しく伝えるかということについてのノウハウを蓄積しつつ、その普及の検証に必要なデータを示しており、その成果が本研究によって示された。今後、理解度・実践度・処方行動を検討することにより、その知識が臨床現場に普及することを示していく必要がある。

A. 研究目的

向精神薬は精神科・心療内科に限らず広く一般診療科においても処方される汎用薬である。しかしながら

向精神薬の処方率が伸びるにつれて極端な多剤併用や乱用、薬物依存などの不適正処方事例が増加し、頻繁にメディア報道されるなど社会問題化しており、患者の不

安も高じている。向精神薬（抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬、精神刺激薬）の多剤併用、大量処方、漫然とした長期処方、乱用・依存などに関する臨床及び社会的な懸念が強まっている状況を鑑み、本研究では、先行研究「向精神薬の処方実態の解明と適正処方を実践するための薬物療法ガイドラインに関する研究」（2017～2018 年度厚生労働科学研究費補助金・障害者政策総合研究事業）において、ガイドライン作成に携わった精神医学、臨床薬学、エビデンス医学の専門家が中心となり、医療現場で頻用される6種の向精神薬である抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、睡眠薬、抗不安薬、ADHD治療薬の適正な使用と安全で安心な出口戦略に資する実践マニュアルを作成する。

EGUIDE プロジェクト（精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究：Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment）においては、精神科治療ガイドラインの講習を行い、その講習によって受講者の理解度の向上、ガイドラインの実践度の向上、そして処方行動の向上を検証することを目的としている。EGUIDE プロジェクトにおける理解度・実践度・処方行動の変化について検討することにより、この方法論を応用して本実践マニュアルの作成に寄与することを目的とする。

B. 研究方法

精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究（EGUIDE プロジェクト）は、2016年に開始し、44大学と180以上医療の医療機関が参加する国内外に例がない治療ガイドラインの効果を検証する研究である。EGUIDE プロジェクトは、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインの講習を全国の精神科医を対象に行い（年間：計20回程度、受講者数200名程度）、その効果を、ガイドラインの理解度、実践度、処方行動によって、評価を行う。よって、講習前後のガイドラインの推奨内容に関する理解度データの収集、講習前後のガイドラインに基づいた治療の実践度調査データの収集、各医療機関における処方データの収集を行う。最終的な処方行動は、「統合失調症における退院時の抗精神病薬単剤治療率」などをQIとして設定している。

（倫理面への配慮）

本研究では「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の該当する研究倫理指針に従って、各分担研究者の所属機関にて倫理審査を受け、その承認を受

けた上で研究を実施する。なお本研究は、患者を特定できる個人情報付帯されない既存資料を中心に用いるが、その当該資料は各施設にて厳重に管理、保管するものとする。

C. 研究結果

2020年度は、11月から12月の間に、全国にて統合失調症薬物治療ガイドライン講習及びうつ病治療ガイドライン講習をそれぞれ9回行い、延べ463名が参加した。そして、講習前後の理解度データの収集、講習前後のガイドラインに基づいた治療の実践度調査データの収集、各医療機関における処方データの収集を行い、解析を行った。2016年に始まったEGUIDEプロジェクトで、初年度の講習会に先立って、参加84施設における1283人のうつ病患者さんへの処方のパターンを医療の質指標QI（Quality Indicator）を用いて示した。参加施設全体の抗うつ薬の単剤処方率は60%で、抗不安薬や睡眠薬の併用は72%であった。薬物療法以外では電気けいれん療法施行率は14%、認知行動療法実施率は1%であった。さらに特筆すべき点として、抗うつ薬の単剤処方率は施設によって0%から100%と大きな差がみられた。本研究成果は、Psychiatry and Clinical Neurosciencesに掲載された。

D. 考察

EGUIDE講習を開始してから4年が過ぎ、全国で1000人以上の精神科医が受講しており、特に若手の精神科医においては基本的な知識と考え方を身に着ける機会として定着してきている。また、EGUIDE講習は、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインで行っているが、たった一日受講するだけで、顕著に理解度が向上するということから、忙しい精神科医にとっては非常によい教育ツールであると考えられている。参加施設全体の抗うつ薬の単剤処方率は60%で、抗不安薬や睡眠薬の併用は72%であった。薬物療法以外では電気けいれん療法施行率は14%、認知行動療法実施率は1%であった。さらに特筆すべき点として、抗うつ薬の単剤処方率は施設によって0%から100%と大きな差がみられた。毎年の講習の実施に伴い、今後これらの指標がより良い方向に変化していくことが期待される。

EGUIDEでは、知識をいかに誤解のないように正しく伝えるかということについてのノウハウを蓄積しつつ、その普及の検証に必要なデータを示しており、その成果が本研究によって示された。今後、理解度・実践度・処方行

動を検討することにより、その知識が臨床現場に普及することを示していく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表 (*=corresponding author)

- 1) Iida H, Iga J, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Miura K, Matsumoto J, Murata A, Ogasawara K, Yamada H, Hori H, Ichihashi K, Hashimoto N, Ohi K, Yasui-Furukori N, Tsuboi T, Nakamura T, Usami M, Furihata R, Takaesu Y, Iwamoto K, Sugiyama N, Kishimoto T, Tsujino N, Yamada H, Hishimoto A, Nemoto K, Atake K, Muraoka H, Katsumoto E, Oishi S, Inagaki T, Ito F, Imamura Y, Kido M, Nagasawa T, Numata S, Ochi S, Iwata M, Yamamori H, Fujita J, Onitsuka T, Yamamura S, Makinodan M, Fujimoto M, Takayanagi Y, Takezawa K, Komatsu H, Fukumoto K, Tamai S, Yamagata H, Kubota C, Horai T, Inada K, Watanabe K, Kawasaki H, ***Hashimoto R**. Unmet needs of patients with major depressive disorder - Findings from the 'Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)' project: A nationwide dissemination, education, and evaluation study. *Psychiatry Clin Neurosci*, 74(12):667-669, 2020
- 2) Ichihashi K, Hori H, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Tsuboi T, Iwamoto K, Kishimoto T, Horai T, Yamada H, Sugiyama N, Nakamura T, Tsujino N, Nemoto K, Oishi S, Usami M, Katsumoto E, Yamamori H, Tomita H, Suwa T, Furihata R, Inagaki T, Fujita J, Onitsuka T, Miura K, Matsumoto J, Ohi K, Matsui Y, Takaesu Y, Hashimoto N, Iga J, Ogasawara K, Yamada H, Watanabe K, Inada K, ***Hashimoto R**. Prescription patterns in patients with schizophrenia in Japan: First-quality indicator data from the survey of "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project. *Neuropsychopharmacol Rep*, 40(3):281-286, 2020
- 3) Kudo N, Yamamori H, Ishima T, Nemoto K, Yasuda Y, Fujimoto M, Azechi H, Niitsu T, Numata S, Ikeda M, Iyo M, Ohmori T, Fukunaga M, Watanabe Y, Hashimoto K, ***Hashimoto R**. Plasma levels of matrix metalloproteinase-9 (MMP-9) are associated with cognitive performance in patients with schizophrenia. *Neuropsychopharmacol Rep*. 40(2):150-156. 2020
- 4) Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Usui K, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kudo N, Azechi H, Watanabe Y, Hashimoto N, Narita H, Kusumi I, Ohi K, Shimada T, Kataoka Y, Yamamoto M, Ozaki N, Okada G, Okamoto Y, Harada K, Matsuo K, Yamasue H, Abe O, Hashimoto R, Takahashi T, Hori T, Nakataki M, Onitsuka T, Holleran L, Jahanshad N, van Erp TGM, Turner J, Donohoe G, Thompson PM, Kasai K, ***Hashimoto R**, COCORO. White matter microstructural alterations across four major psychiatric disorders: mega-analysis study in 2937 individuals. *Mol Psychiatry*. 25(4):883-895, 2020
- 5) 埜本大喜、藤本美智子、近江翼、片上茂樹、岩瀬真生、**橋本亮太**、山森英長、安田由華、阿古目純、中川幸延、池田学、Clozapineによる薬疹を疑われ中止した後に再投与した治療抵抗性統合失調症の1例、精神医神経学雑誌(日本精神神経学会)、122(6):424-430、2020

2. 学会発表

- 1) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドラインを精神科臨床で生かすために、2020年度第5回日本精神薬学会 Web 講演会、3.21, 2021. 講演
- 2) 長谷川 尚美、松本 純弥、三浦 健一郎、**橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトメンバーズ、統合失調症とうつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果、NCNP 令和2年度精神保健研究所研究報告会、オンラインウェブ開催、3.15, 2021. 口頭
- 3) **橋本亮太**、青木吉嗣、精神・神経・筋難病の克服を目指した研究開発、第5回国立研究開発法人イノベーション戦略会議、内閣府ウェブサイト、2.4, 2021. 口演
- 4) 飯田仁志、伊賀淳一、安田由華、山本智也、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、川寄弘詔、精神

- 科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) 参加施設のうつ病治療に関する診療の質の評価、第 17 回日本うつ病学会総会、オンラインウェブ開催、2021. 1. 25-31, 2021. ポスター
- 5) 小笠原一能、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、尾崎紀夫、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトチーム、「EGUIDE プロジェクト」受講者アンケートの解析から、第 17 回日本うつ病学会総会、オンラインウェブ開催、1. 25-31, 2021. ポスター
 - 6) **橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトワークショップ: 日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか? - 症例ディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぶ -、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10(10), 2021. 座長
 - 7) **橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトメンバーズ、EGUIDE プロジェクトの概要、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演・座長
 - 8) 高江洲和、EGUIDE プロジェクトメンバーズ、EGUIDE プロジェクトによる精神科医の臨床知識の改善度の検討、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 9) 沼田周助、中瀧理仁、長谷川尚美、枝川令音、江戸宏彰、三浦健一郎、松本純弥、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、ガイドラインの理解度向上の取り組み、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 10) 小笠原一能、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、尾崎紀夫、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、診療ガイドライン講習会を受講者はどのように評価し、どのような効果を得たのか? EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 11) 山田恒、**EGUIDE プロジェクトメンバーズ**、治療ガイドラインに沿った臨床行動の実践度の変化、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 12) 市橋香代、**EGUIDE プロジェクトメンバーズ**、日本における統合失調症入院患者の治療状況 - EGUIDE プロジェクト初年度介入前の調査より -、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 13) 飯田仁志、**EGUIDE プロジェクトメンバーズ**、うつ病治療の施設による違い - 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) から得られた知見 - EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 14) 長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、安田由華、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、統合失調症の薬物治療とうつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 15) 橋本直樹、古郡規雄、沼田周助、飯田仁志、市橋香代、稲田健、降旗隆二、堀輝、長谷川尚美、**橋本亮太**、2177 名の統合失調症患者の退院時処方についての検討、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 16) 古郡規雄、橋本直樹、長谷川尚美、沼田周助、飯田仁志、市橋香代、稲田健、降旗隆二、堀輝、**橋本亮太**、うつ病患者の退院時処方についての検討、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 17) 堀輝、古郡規雄、伊賀淳一、越智紳一郎、鬼塚俊明、姜善貴、高江洲義和、降旗隆二、村田篤信、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、EGUIDE プロジェクト介入前の抗コリン薬処方調査、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
 - 18) 降旗隆二、大槻怜、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、坪井貴嗣、沼田周助、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、統合失調症およびうつ病治療における睡眠薬処方の実態と多剤併用の関

- 連要因について、EGUIDE プロジェクトシンポジウム、第 30 回臨床精神神経薬理学会、ウェブオンライン開催、1. 10, 2021. 口演
- 19) 本山美久仁、山田恒、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果の検討—うつ病治療ガイドラインに沿った臨床行動実践度の比較—、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10 (9), 2021. 口演
- 20) 安田由華、稲田健、飯田仁志、古郡規雄、堀輝、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドラインを用いたエビデンス・診療ギャップの検討について—精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) より—、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10 (9), 2021. 口演
- 21) 山田恒、本山美久仁、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果の検討—治療ガイドラインに沿った臨床行動実践度の比較—、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10 (9), 2021. 口演
- 22) 村田篤信、古郡規雄、堀輝、長谷川尚美、姜善貴、高江洲義和、伊賀淳一、越智紳一郎、降籬隆二、鬼塚俊明、竹島正浩、三浦健一郎、松本純弥、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、統合失調症患者における抗コリン薬服薬中止達成に関する要因の後方視的解析、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10 (9), 2021. 口演
- 23) **橋本亮太**、長谷川尚美、松本純弥、三浦健一郎、脳神経画像のメガアナリシスによる病態解明研究と EGUIDE プロジェクトによるガイドラインの普及教育効果の検証、NCNP 令和元年度精神保健研究所研究報告会、オンラインウェブ開催、12. 21, 2020. 口頭
- 24) 長谷川尚美、松本純弥、三浦健一郎、**橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトメンバーズ、EGUIDE プロジェクトによる退院時処方への効果〜クロザピンと医療の質 (Quality Indicator) の関係に着目して〜、NCNP 令和元年度精神保健研究所研究報告会、オンラインウェブ開催、12. 21, 2020. 口頭
- 25) 長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト)、D&I 科学研究会 (保健医療福祉における普及と実装科学研究会) 第 5 回学術集会、ウェブオンライン開催、11. 28, 2020. 口頭
- 26) **橋本亮太**、臨床研究者の立場から、委員会シンポジウム 24 (精神医学研究推進委員会) 当事者・家族の望む精神医学研究とは：Patient and Public Involvement、第 116 回日本精神神経学会学術総会、ウェブオンライン開催、9. 28-30 (30), 2020. 講演
- 27) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の概要、シンポジウム：統合失調症薬物治療ガイドラインの普及：SDM を用いた利活用への期待、第 116 回日本精神神経学会学術総会、ウェブオンライン開催、9. 28-30 (28), 2020. 講演
- 28) **橋本亮太**、長谷川尚美、安田由華、山本智也、渡邊衡一郎、稲田健、EGUIDE プロジェクトによる退院時処方への効果〜クロザピン治療と Quality Indicator との関係に着目して〜、第 116 回日本精神神経学会学術総会、ウェブオンライン開催、9. 28-30, 2020. ポスター
- 29) **橋本亮太**、松本純弥、長谷川尚美、三浦健一郎、治療の指針となる診断法の開発研究の真のゴールとその道のり、シンポジウム 1 (指定演題)：精神疾患の画像所見は、臨床診断に使えるようになるのか？第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8. 21-23, 2020. 座長、講演
- 30) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドラインの作成・普及・教育・検証活動：日本神経精神薬理学会から世界を変える！、NP50 周年記念シンポジウム、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4

- 回日本精神薬学会総会・学術集会、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 講演
- 31) 山田恒、本山美久仁、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、統合失調症とうつ病治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果：ガイドライン講習受講前後の治療行動の変化からの考察、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 口演
- 32) 飯田仁志、伊賀淳一、長谷川尚美、安田由華、山本智也、三浦健一郎、松本純弥、村田篤信、稲田健、渡邊衡一郎、川寄弘詔、**橋本亮太**、うつ病のアンメットニーズ—精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) から得られた知見一、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 口演
- 33) 沼田周助、中瀧理仁、長谷川尚美、枝川令音、江戸宏彰、三浦健一郎、松本純弥、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、統合失調症とうつ病に対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) におけるガイドライン理解度向上の取り組みとその結果、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 口演
- 34) 長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、安田由華、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、うつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 口演
- 35) 長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、安田由華、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、統合失調症の薬物治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. 口演
- 36) 市橋香代、堀輝、長谷川尚美、安田由華、山本智也、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、日本における統合失調症入院患者の処方調査—EGUIDE プロジェクト初年度介入前の調査より—、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. ポスター
- 37) 堀輝、古郡規雄、長谷川尚美、三浦健一郎、松本純弥、渡邊衡一郎、稲田健、**橋本亮太**、我が国の統合失調症治療における抗コリン薬処方調査：EGUIDE 研究から、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. ポスター
- 38) 小宮偉吹、長谷川尚美、久保田智香、三浦拓人、佐藤英樹、三浦健一郎、松本純弥、坂元竜馬、村田篤信、柏木宏子、坪井貴嗣、安田由華、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、NCNP 病院のうつ病治療における EGUIDE 講習の効果～ベンゾジアゼピン受容体作動薬に着目して～、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. ポスター
- 39) 村田篤信、長谷川尚美、山本智也、三浦拓人、三浦健一郎、松本純弥、古郡規雄、沼田周助、鬼塚俊明、竹島正浩、稲田健、渡邊衡一郎、**橋本亮太**、精神科領域における薬剤師の関わりの有用性評価を目的とした多施設共同研究、第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会)、ウェブオンライン開催、8.21-23, 2020. ポスター
- 40) **橋本亮太**、精神疾患の病態解明研究のトレンドウォッチ：ビッグデータと仮説検証研究、教育講演、第 43 回日本神経科学大会、ウェブ開催 (ストーリーミング配信形式) 7.29-8.1, 2020. 招待講演
- 41) **橋本亮太**、稲田健、沼田周助、山田恒、橋本保彦、降旗隆二、古郡規雄、精神医療分野におけ

る治療の質を評価する QI とその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証、日本医療研究開発機構 令和 2 年度障害者対策総合研究開発事業 精神障害分野分科会. ウェブオンライン開催、7. 23, 2020, 口演

- 42) **Hashimoto R**, Matsumoto J, Hasegawa N, Miura K. Partnering International Consortium: COCORO, The ENIGMA Consortium All-Hands Virtual Meeting 2020, 7. 1-2(1), 2020. Invited speaker

3. その他

<ガイドライン・政策提言>

- 1) クロザピンの検査間隔の延長および血球減少による中止後の再投与に関する要望、精神神経学会、神経精神薬理学会、臨床指針神経薬理学会、統合失調症学会の関連 4 学会合同、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長宛て 2021 年 3 月 20 日
- 2) 診療ガイドラインの普及と医療の質向上の評価 2020 年 11 月 20 日
公益財団法人 日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業 (Minds) 活用促進部会 有効性評価検討会「診療ガイドラインの普及と医療の質向上の評価」について 提言 2020 年 11 月 20 日
https://minds.jcqh.or.jp/s/developer_recommendation
https://minds.jcqh.or.jp/s/guidance_proposal5

<ウェブサイト掲載>

- 1) **橋本亮太**、青木吉嗣、精神・神経・筋難病の克服を目指した研究開発、第 5 回国立研究開発法人イノベーション戦略会議、内閣府ウェブサイト、2. 4, 2021 口演
<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/5kokken.html>
http://www.cao.go.jp/lib_006/5kokken/5kokken_19.html

<著書>

- 1) **EGUIDE プロジェクト**、ケースでわかる！精神科治療ガイドラインのトリセツ、2020. 11 医学書院
- 2) **橋本亮太**、渡邊衡一郎、EGUIDE プロジェクト、講座 精神疾患の臨床 1 気分症群、309-312、2020. 6 中山書店

- 3) 長谷川尚美、**橋本亮太**、疾患別- 統合失調症、II ガイドラインに基づく外来での精神科薬物療法、調剤と情報 臨時増刊号 27(2):98-103、2021. 1 じほう
- 4) 古郡規雄、内田裕之、水野裕也、**橋本亮太**、クロザピン患者モニタリングサービスの国際比較ー COVID-19 対応を含めてー、臨床精神薬理 23(10):1041-1049、2020. 10 星和書店
- 5) **橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトの概要、日本精神神経科診療所協会誌日精診ジャーナル、第 24 回通算 45 回学術研究会 2018 年淡路大会特集号:S148-S153、2020. 6 公益財団法人日本精神神経科診療所協会
- 6) **橋本亮太**、松本純弥、長谷川尚美、三浦健一郎、精神疾患のバイオマーカーを考察する、精神医学、62(6):875-882、2020. 6 医学書院
- 7) 稲田健、**橋本亮太**、中込和幸、統合失調症薬物治療ガイドライン、精神医学、62(5):522-526、2020. 5 医学書院

<研修会>

企画

- 1) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン (EGUIDE プロジェクト) 当事者、当事者家族、支援者、医療者による、EBM に基づく Shared Decision Making の達成にむけてー統合失調症薬物治療ガイドライン/ガイドを利用した SDM の実践ー、第 15 回日本統合失調症学会、オンラインウェブ開催、4. 9-10(10), 2021
- 2) **橋本亮太**、EGUIDE プロジェクト うつ病治療ガイドライン講習会、第 17 回日本うつ病学会総会、オンラインウェブ開催、2021. 1. 25-31(30), 2021
- 3) **橋本亮太**、EGUIDE プロジェクトワークショップ: 日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか? - 症例ディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぶ-、第 30 回日本臨床精神神経薬理学会、オンラインウェブ開催、1. 9-10(10), 2021
- 4) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト四国地区愛媛大学講習、ウェブオンライン開催、12. 20, 2020
- 5) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト近畿地区大阪大学講習、ウェブオンライン開催、12. 20, 2020
- 6) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、

- EGUIDE プロジェクト四国地区愛媛大学講習、ウェブオンライン開催、12.19, 2020
- 7) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト近畿地区大阪大学講習、ウェブオンライン開催、12.19, 2020
 - 8) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、12.13, 2020
 - 9) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト福岡大学講習、ウェブオンライン開催、12.6, 2020
 - 10) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.6, 2020
 - 11) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト福岡大学講習、ウェブオンライン開催、12.5, 2020
 - 12) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.5, 2020
 - 13) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、11.29, 2020
 - 14) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区金沢医科大学/北海道大学講習、ウェブオンライン開催、11.23, 2020
 - 15) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区金沢医科大学/北海道大学講習、ウェブオンライン開催、11.23, 2020
 - 16) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区 金沢医科大学/北海道講習、ウェブオンライン開催、11.22, 2020
 - 17) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.15, 2020
 - 18) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト東北地区東北大学講習、ウェブオンライン開催、11.15, 2020
 - 19) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト東北地区東北大学講習、ウェブオンライン開催、11.14, 2020
 - 20) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.3, 2020
 - 21) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、11.1, 2020
 - 22) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、10.31, 2020
 - 23) **橋本亮太**、ワークショップ、日常診療に診療ガイドラインは役に立つのか?、第116回日本精神神経学会学術総会、ウェブオンライン開催、9.28-30(29), 2020
 - 24) **橋本亮太**、2020 日本神経精神薬理学会 EGUIDE プロジェクト 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会、ウェブオンライン-ZOOM 開催、8.23, 2020
 - 25) **橋本亮太**、2020 日本精神薬学会 EGUIDEワークショップ：薬剤師に治療ガイドラインは役に立つのか?—妊婦希望うつ病症例のディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぶ—、ウェブオンライン-ZOOM 開催、8.22, 2020
- 講義・講演
- 1) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、12.13, 2020 口頭（講義）
 - 2) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、12.13, 2020 口頭（講義）
 - 3) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、12.13, 2020 総合司会
 - 4) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.6, 2020 口頭（講義）
 - 5) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.6, 2020 口頭（講義）
 - 6) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.6, 2020 総合司会

- 7) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.5, 2020 口頭 (講義)
- 8) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.5, 2020 口頭 (講義)
- 9) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習、ウェブオンライン開催、12.5, 2020 司会
- 10) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、11.29, 2020 口頭 (講義)
- 11) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、11.29, 2020 口頭 (講義)
- 12) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習、ウェブオンライン開催、11.29, 2020 総合司会
- 13) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.15, 2020 口頭 (講義)
- 14) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.15, 2020 口頭 (講義)
- 15) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.15, 2020 総合司会
- 16) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.3, 2020 口頭 (講義)
- 17) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.3, 2020 口頭 (講義)
- 18) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習、ウェブオンライン開催、11.3, 2020 総合司会
- 19) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、11.1, 2020 口頭 (講義)
- 20) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、11.1, 2020 口頭 (講義)
- 21) **橋本亮太**、うつ病治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、11.1, 2020 総合司会
- 22) **橋本亮太**、理解度の解説とフィードバック、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、10.31, 2020 口頭 (講義)
- 23) **橋本亮太**、趣旨説明及び理解度記入、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、10.31, 2020 口頭 (講義)
- 24) **橋本亮太**、統合失調症薬物治療ガイドライン講習、EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習、ウェブオンライン開催、10.31, 2020 総合司会
- 25) **橋本亮太**、研究論文の書き方、ワークショップ 11(PCN 編集委員会) : 現役エディターによる論文の書き方指導の講義と論文投稿の個別相談会、第 116 回日本精神神経学会学術総会、9.28-30(29), 2020, 口演
- 26) **橋本亮太**、日常診療と診療ガイドラインの関係、ワークショップ : 日常診療に診療ガイドラインは役に立つのか?、第 116 回日本精神神経学会学術総会、ウェブオンライン開催、9.28-30(29), 2020 口演
- 27) **橋本亮太**、2020 日本神経精神薬理学会 EGUIDE プロジェクト 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会、ウェブオンライン-ZOOM 開催、8.23, 2020 司会
- 28) **橋本亮太**、2020 日本精神薬学会 EGUIDEワークショップ : 薬剤師に治療ガイドラインは役に立つのか?-妊婦希望うつ病症例のディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぶ-、ウェブオンライン-ZOOM 開催、8.22, 2020 座長